

令和7年度 総社小学校 学校評価資料

| 学校<br>経営<br>目標                                                     | 具体的計画                                                                                                                                                                               | 本年度（令和7年度）                                                                             |                                                                                                                                                                 | 自己評価（中間）                                                                           |    |                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | 令和7年度の達成基準                                                                             | 主な取組                                                                                                                                                            | 達成状況（最終）                                                                           | 評価 | 改善策                                                                                                                                                                                                                                            |
| 1<br>心<br>の<br>教<br>育<br>の<br>充<br>実                               | 【やさしい子】<br><br>①道徳教育、人権教育、総社っ子応援プロジェクトの取組を充実することにより、児童同士の絆や思いやりの心を育て、長期欠席・不登校やいじめの未然防止に努める。<br><br>②「すきだ総社小学校運動」すすんで挨拶、きちんと歩行、だまって掃除を推進するとともに愛校心を育てる。<br>(総社を愛す子供)(心優しい子供)(礼儀正しい子供) | ①思いやりの心をもって生活しているという回答が85ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【人間関係・特別支援教育】                   | ・児童同士の絆を深められるよう、道徳教育やくすの葉の取組等を継続していくようにする。                                                                                                                      | ○周りの人への優しさ<br>児童：86.5p<br>○周りの人の優しさ<br>児童：87.1p<br>○思いやり<br>保護者：85.0p<br>教職員：92.8p | A  | 委員会からの呼びかけで、くすの葉活動が活発に行われている。9月からも道徳教育やくすの葉の取組等を継続していく。また、協同学習を授業の中で積極的に取り入れ、児童同士の結びつきを強めるようにしていく。                                                                                                                                             |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ②進んであいさつができていう回答が85ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【人間関係・特別支援教育】                         | ・昨年度はあいさつ運動の活動が活発で良かったので、引き続き継続していくようにする。また、朝のあいさつ運動以外の場面でも挨拶や会釈ができるように、児童会が中心となって、働きかけるようにする。また、本年度も地域のボランティアの方の声を聞き、児童に伝えていくことで、さらにあいさつの輪を広げられるようにする。         | 児童：82.4p<br>保護者：78.5p<br>教職員：87.5p                                                 | B  | 高学年が中心となって毎朝あいさつ運動に取り組んでいる。ただ、児童と保護者であいさつの達成状況に差があるので、どのようなあいさつがいいのか児童がイメージできるよう、あいさつレベルを全校に広め、あいさつへの意識を高めるようにしていく。また、委員会が中心となって地域の方にも気持ちのよいあいさつが届けられるようにしていく。                                                                                 |
| 2<br>健<br>康<br>・<br>体<br>力<br>づ<br>く<br>り<br>の<br>推<br>進           | 【たくましい子】<br><br>③健康教育、特別活動を充実することにより、児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。総社東中学校ブロックの学校園と連携し、メディアコントロールの取組を推進する。<br><br>④目標をもって主体的に体力づくりに取り組み、体力の向上を図るとともに最後まで粘り強く頑張る態度を育てる。                         | ③感染症対策として手洗い、換気を行っているという回答が85ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【保健安全】                      | ・引き続き、委員会を中心に手洗い励行の取組を行い、感染症予防に努める。また、校内全体で換気に対する意識を高めるために、朝の放送で「手洗い・換気」の声掛けを入れて放送する。                                                                           | 児童：89.1p<br>保護者：90.2p<br>教職員：84.7p                                                 | B  | ・委員会や朝の放送での声掛けで、手洗いや換気の意識を高めることができていたので、今後も続けていく。<br>・児童や保護者の回答はポイントが高いが、教職員のポイントが低くなっている。全くやっていない学級はないと思われるので、いつ、どの程度できていれば「行っている」と言えるのか、基準を共通理解することも検討していく。                                                                                  |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ④睡眠とメディアコントロールを中心に、基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいるという回答が80ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【保健安全】 | ・本年度も、児童用タブレットを使用して結果を集計していくことで、児童の生活習慣の改善に生かせるようにする。<br>・家庭へのフィードバックについても、「すぐーる」等を活用して行い、減メディアや上手なメディアとの付き合い方への意識向上が図れるようにする。                                  | 児童：88.9p<br>保護者：80.4p<br>教職員：85.7p                                                 | A  | ・児童・保護者・教職員ともに80ポイントを上回っているので、今後も児童用タブレットを活用して結果を集計し、「すぐーる」等で家庭へフィードバックしていく。                                                                                                                                                                   |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ⑤自分から進んで運動しているという回答が80ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【保健安全】                             | ・本年度も年間を通して、チャレンジランキングに参加し、体力の向上に努める。また、取組状況を掲示や校内放送等で知らせ、児童の運動意欲の向上に努める。<br>・家庭でも声掛けを行ってもらようよう、学級の実態に応じて、通信や懇談などで働きかける。                                        | 児童：83.1p<br>保護者：79.5p<br>教職員：86.6p                                                 | B  | ・保護者保護者のポイントが低くなっている。今年度の夏も暑すぎたことや、保護者が児童の全てを見られないことも要因の一つと考えられる。メディアコントロールカードの「運動」の欄をもっと活用したり、保護者に向けて「体力づくり」に関する発信を行ったりしていく。                                                                                                                  |
| 3<br>確<br>か<br>な<br>学<br>力<br>の<br>育<br>成                          | 【すすんで学ぶ子】<br><br>⑤児童が主体的・対話的で深い学びを実践し確かな学力を身に付けることができるように授業改善を行う。特に、考える活動や書く活動を重視する。<br><br>⑥朝学習や総小チャレンジタイム、家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着を目指す。                                                 | ⑥自分の考えや振り返りを書いているという回答が85ポイント以上である。<br>(児童・教職員)<br>【学力向上】                              | ・学年団で、振り返りの視点を再度確認し、授業で必ず確認をしていく。<br>・振り返りの視点は、各学年相応の振り返りを書けるように指導を徹底していく。学習後の振り返りにより、学習をより定着していく。                                                              | 児童：87.9p<br>教職員：92.1p                                                              | A  | ・職員・児童ともに振り返りを書けているとの回答が85ポイントを超えている。引き続き振り返りの視点を示して書くことで、学習を深めることができるようにする。また、教員は、振り返りの内容を丁寧に見取り、次の学習へつなげるようにしていく。                                                                                                                            |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ⑦国語と算数の単元テストの正答率8割以上の児童が、(低学年80%、中学年75%、高学年70%)80ポイント以上である。<br>(児童・教職員)<br>【学力向上】      | ・学年や、学年内で差があることが目立った。学習の単元に入る前に単元のめあてやねらいを確認するとともに、教材研究ノートを交えての交流をするようにする。<br>・計算方法については昨年度と変えず、学校で共通理解をする。                                                     | 教職員：79.0p                                                                          | B  | ・各学年から、単元テストの結果をもとに様子を聞き取ったところ、特に算数で、前学年での取りこぼしが響き、悪循環となっていることが分かった。その学年ごとに必ず身に付けなければならないこと(基礎基本)を確認した。それを朝学習の時間で徹底する。朝学習の時間は、丸付けを主にボランティアの方にお願し、個別に指導をしたい児童には担任が付き、15分間を学力の底上げに有効活用する。<br>・学年で単元前や単元中に学習の進め方について相談する時間を設け、指導方法についても共通理解をしていく。 |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ⑧家庭で10分×学年＋10分勉強しているという回答が80ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)<br>【学力向上】                       | ・学年間で、宿題の出し方や出す量、現在の子どもの様子を情報共有し、差がないようにする。<br>・ナイスノートの掲示をして、自主学習のやり方も高みを目指せるようにする。                                                                             | 児童：84.9p<br>保護者：75.7p<br>教職員：83.6p                                                 | B  | ・毎年、保護者のポイントが低い結果となっている。毎日のがんばりカードを有効活用し、保護者に協力を仰ぎたい。保護者を巻き込んだ家庭学習の出し方を各学年工夫する。<br>・くすの葉ホールに掲示している自主学習の掲示は引き続き行うが、教室内にも自主学習ノートや宿題ノートなどの掲示をして、参観日には保護者の目に触れるようにする。                                                                              |
| 4<br>地<br>域<br>と<br>と<br>も<br>に<br>あ<br>る<br>学<br>校<br>づ<br>く<br>り | ⑦各種の便り、ホームページの更新、学校評価、学校公開等により、積極的に情報を発信する。<br><br>⑧きらめきEASTの幼稚園、小・中学校や家庭・地域・関係機関等との連携を深め、児童の健やかな成長を図る。                                                                             | ⑨学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85ポイント以上である。<br>(保護者・教職員)                                    | ・ホームページや学校だより、学級通信、すぐーる等で学校や学級での子どもの様子をより積極的に情報発信できるようにする。<br>・ホームページの更新が短期的にできるように、掲載内容について計画を立てるようにする。                                                        | 保護者：86.0p<br>教職員：85.0p                                                             | A  | ・学校だより、学級通信で子どもの様子を発信している。<br>・ホームページの担当が各学年団に声を掛け、ホームページの更新が短期的にできるようになってきている。今後は掲載内容の計画を立てるようにする。                                                                                                                                            |
|                                                                    |                                                                                                                                                                                     | ⑩安心・安全な学校生活を送るために、学校内外の安全確保の取組を行っているという回答が90ポイント以上である。<br>(児童・保護者・教職員)                 | ・学校支援ボランティアと協力して、登校は校長と生徒指導担当が自転車で学区を見回り、下校は曜日ごとに担当学年が下校指導を継続して行う。<br>・毎朝、校内放送で副校長が安心・安全な学校生活を送るように声掛けを継続する。<br>・「地区協議会」の学校行事(交通安全)への参加。<br>・児童の委員会活動で意識の高揚を図る。 | 児童：89.4p<br>保護者：88.2p<br>教職員：90.2p                                                 | B  | ・児童の委員会活動で安全な学校生活を送るために、当番で声掛けをしたりポスターを作成したりしている。<br>・下校後も安全な生活を送ることができるよう児童や保護者の意識を高める呼び掛けをしていく。                                                                                                                                              |